■山科言継　　公卿。朝廷財政逼迫のため武将間を奔走し，貴族社会を詳細に記録した日記「言継卿記」を遺した。
やましなときつぐ
細川政元殺害1507＝　　右近衛権少将兼内蔵頭山科言綱の子に生まれる。この年，細川政元が暗殺され，

京畿が混乱状態となるなか，母は女嬬という特殊な立場ながらも，山科家が祖父の晩年来不運が続いていたことから，周囲の同情もあって，順調に育ち，

義興遣明船・1516＝ **9歳：**
・・・・・・1517＝10歳：従五位下の爵位を受く。言継と改名。
義興周防帰国1518＝11歳：

・・・・・・1520＝13歳：元服，以後，烏帽子親の三条西公条に庇護され，生涯音信かかさず。内蔵頭に補され，従五位上に昇る。

・・・・・・1522＝15歳：右近衛権少将に補さる(内蔵頭兼任)。

・・・・・・1524＝17歳：正五位下。
・・・・・・1525**＝18歳：**
以後管領不在1526＝19歳：**_この年，日記をつけていたことが史料に見える。**
・・・・・・1527＝20歳：陽禁中の違棚等を修理，以後生涯にわたり，命じられては，諸物の修理に当る。御末の風呂を献ず。六町の木戸を構えた町衆たちに酒をふるまう。この年以降，所領押領に悩まされる。***現存「言継卿記」はじまる。**
大内義興没・1528＝21歳：従四位下。
・・・・・・1529＝22歳：天皇より目香削りを命ぜらる。飼育の猿を親王や伏見宮の子に見せる。有職故実の沙汰の担当始まる。
遣明船復活・1530＝23歳：従四位上。父言綱が急死し，辞官服喪。
天王寺合戦・1531＝24歳：田楽奉行を命ぜらるも，辞退。
大和一向一揆1532＝25歳：貧窮のため入質した蚊帳を請け出す。楽奉行に任ぜられ，天皇より楽道再興に努めるよう命ぜらる。所蔵の源氏物語を叡覧に供し，勅により写す。この年，朝廷から幕府に，山科七郷郷民の年貢難渋停止を指示。
・・・・・・1533＝26歳：京都を出，近江永源寺を見物し，伊勢梅戸城・尾張勝幡城後，尾張清洲城に登り守護代織田達勝を訪ね，帰京。先祖の旧記から天皇の家司であったことを知り，不審から家司名を返上。この頃，葉室氏と結婚。
・・・・・・1534**＝27歳：**正四位上。長女が誕生。近江桑実寺に将軍義晴を訪う。大内義隆より「中臣祓」の書写を依頼さる。
・・・・・・1535＝28歳：右近衛権中将に補せらる。
・・・・・・1537＝30歳：**_天皇より「雑筆往来」を拝領。従三位に昇り堂上入り。次いで左兵衛督に転ず。**
銀輸出始・・1538＝31歳：***参議に任ぜられ，内蔵頭を辞す(左兵衛督兼任)。左衛門督に転ず(参議兼任)。**
・・・・・・1539＝32歳：加賀権守に転じ，粟田口に関所を建てんとし，青蓮院に訴えられ，三宝院境内に高荷公事役を徴収せんとして訴えらる。長男が誕生。
武田信玄登場1541＝34歳：勅使として坂本に下向し，将軍義晴を音問。
鉄砲伝来・・1543**＝36歳：**長男が夭折。悲嘆し，山科家の極官たる中納言昇叙の話も辞退。次男(言経)が誕生。
・・・・・・1544＝37歳：念願の権中納言に就任。山城郡代高畠長直と率分につき問答。堺に下向。「法中次第」を写し献ず，以後生涯にわたり，諸文献を書写しては献上し，天皇から諸物を拝領。裏無上履を天皇に献上。
・・・・・・1545＝38歳：従二位の昇叙に際し一悶着。朝廷が園城寺の山科郷違乱を止む。勅使として貞敦親王を音問。粟津供御人の魚棚相論おこる。天皇より法華経紙背の書写を命ぜらる。中山備前守に居都庄年貢を催促。
足利義輝将軍1546＝39歳：親王を供奉し鞍馬寺に参詣。興添いの一件おこり，嫌気，出奔して山門に上るが，慰留され京に戻る。
上杉謙信登場1548＝41歳：***懐柔のためか，山科家異例の正二位に昇る。楽奉行を罷免される。ついに家領山科七郷が幕府料所として没収されるに至り，没落公卿となる。家計窮迫を補うべく山科家に伝わる医薬を副業にして行く。**
ザビエル来日1549＝42歳：今村慶満の率分押領を三好長慶に愁訴。朝命により禁裏苑池の水路を修理。天皇より「公卿補任」を貸与され，銭や物品を拝領。権中納言を上表するも諭止される。奈良に赴き東大・興福両寺の抗争を和解させる。
大内布教許可1550＝43歳：天皇から服を贈られ，警固番の進上・添番を命ぜらる。長慶に勅筆の詩歌三枚を贈る。陸奥出羽按察使を加えらる。土佐光茂より足利義晴画像の装束につき質問を受く。大内義隆進献の礼銭を頒与さる。
大友布教許可1552**＝45歳：**ようやく，将軍が三好長慶に被官今村慶満の率分押妨を止めさせる。
川中島の戦始1553＝46歳：葉室郷と松尾社との用水相論を仲裁し，長慶の裁許を仰ぐ。朝廷が細川氏綱に率分押領を止めさせる。
・・・・・・1554＝47歳：吉田郷と北白川郷との相論を上京町衆とともに仲裁。天皇より狩野元信描く扇を賜わる。
・・・・・・1556＝49歳：京を出，楠より海路篠島を経て，駿河府中に至り，今川義元と対面。末娘が疱瘡で死去。
・・・・・・1557＝50歳：徳川家康家臣松平親乗の訪問を受けた後，伊勢内外宮参拝し，田丸城で北畠具教と会見し，帰京。
・・・・・・1558＝51歳：権大納言を望むも大宰権帥に補任。伊勢に赴き，北畠具教に三十貫献上を命じて，帰京。
大内府内開港1559＝52歳：楽奉行に還任。三好長慶に見参。朝廷が幕府に山科家知行分の返還を命ず。
川中島最激戦1561**＝54歳：**
川中島の戦終1564＝57歳：大坂に下向し，野田道場を訪問。
将軍義輝自刃1565＝58歳：天台座主応胤法親王より五箇秘法を伝授。朝廷が幕府に東口率分の押妨を停止させる。
・・・・・・1566＝59歳：三好義継より率分所を安堵される。
岐阜楽市楽座1567＝60歳：細川昭元の率分押領を三人衆に愁訴。摂津富田で足利義栄に対面。
織田信長入京1568＝61歳：清水某の木幡口率分押領を三人衆に愁訴。将軍宣下参内について諸指示を行い，信長に旧領を還付され，
京都宣教許可1569＝62歳：**_ついに権大納言に補任。先皇法会の財源に徳川家康よりの献金を提案，岐阜に下って献金調達に奔走。**
石山合戦始・1570**＝63歳：**天皇に薬を調進。入京の信長を勅使として慰問し，大坂より帰京の義昭・信長を勅使として犒う。
比叡山焼討・1571＝64歳：天皇に薬を調進。大宰権帥を辞任。小笠原長時の訪問を受く。上泉信綱より兵法を授けられる。岐阜に下り，料所近江舟木庄の押領を信長に愁訴。
室町幕府滅亡1573＝66歳：若狭の禁裏料所につき丹羽長秀と折衝。

長篠の戦・・1575＝68歳：七口関につき西園寺氏と争う。信長より西梅津庄三十石をあてがわれ，邸を新築して移徙。
安土城築城・1576＝69歳：なお，率分につき羽柴秀吉に依頼し，
安土楽市楽座1577＝70歳：子言経が権中納言に補任されるのを見て，

安土教会許可1579**＝72歳：**_没した。

講談社学術文庫「戦国時代の貴族」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，